

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
320288	X-21-B-1-320288	1	後期	【1・2年次生】国際学部国際文化学科	専門	選択必修	1年
				【3年次生以上】国際学部国際文化学科	専門	選択	2年
				【3年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	専門	必修	2年
				【1-3年次生】経営情報学部経営学科	×	×	×
				【1-3年次生】経営情報学部情報システム学科	×	×	×
				【4年次生】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×
				【4年次生】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×

授業目的

様々なトピックの文章を使用して英文理解のための基礎知識を習得する。その知識を基にして高度な語学運用力獲得に必要なリーディング・スキルの向上を目指す。

各回の授業内容

<p><b>第1回</b> 【授】 j 授業内容について 1) 2 つの Reading skills の復習 : ① Slash Reading, ② Paragraph Reading, 2) Topic Sentence (主論文) とは? 3) 事前・事後学習についての説明 【前・後】 本日授業内容の復習 (30 分)</p> <p><b>第2回</b> 【授】 Unit 1: Slash Reading と Paragraph Reading の練習 / テキストの内容確認と問題練習 【前・後】 予習 (1 時間) : Unit 1 (pp 6-8) 復習 (30 分) : テキスト (p 6) のリスニングと音読</p> <p><b>第3回</b> 【授】 Unit 2: Slash Reading と Paragraph Reading の練習 / テキストの内容確認と問題練習 【前・後】 予習 (1 時間) : Unit 2 (pp 12-4) 復習 (30 分) : テキスト (p 14) のリスニングと音読</p> <p><b>第4回</b> 【授】 Unit 3: Slash Reading と Paragraph Reading の練習 / テキストの内容確認と問題練習 【前・後】 予習 (1 時間) : Unit 3 (pp 18-20) 復習 (30 分) : テキスト (p 20) のリスニングと音読</p> <p><b>第5回</b> 【授】 Unit 4: Slash Reading と Paragraph Reading の練習 / テキストの内容確認と問題練習 【前・後】 予習 (1 時間) : Unit 4 (pp 24-6) 復習 (30 分) : テキスト (p 26) のリスニングと音読</p> <p><b>第6回</b> 【授】 Unit 5: Slash Reading と Paragraph Reading の練習 / テキストの内容確認と問題練習 【前・後】 予習 (1 時間) : Unit 5 (pp 30-2) 復習 (30 分) : テキスト (p 32) のリスニングと音読</p> <p><b>第7回</b> 【授】 Unit 6: Slash Reading と Paragraph Reading の練習 / テキストの内容確認と問題練習 【前・後】 予習 (1 時間) : Unit 6 (pp 36-8) 復習 (30 分) : テキスト (p 38) のリスニングと音読</p> <p><b>第8回</b> 【授】 Unit 7: Slash Reading と Paragraph Reading の練習 / テキストの内容確認と問題練習 【前・後】 予習 (1 時間) : Unit 7 (pp 42-4) 復習 (30 分) : テキスト (p 44) のリスニングと音読</p>	<p><b>第9回</b> 【授】 Unit 8: Slash Reading と Paragraph Reading の練習 / テキストの内容確認と問題練習 【前・後】 予習 (1 時間) : Unit 8 (pp 48-50) 復習 (30 分) : テキスト (p 50) のリスニングと音読</p> <p><b>第10回</b> 【授】 Unit 9: Slash Reading と Paragraph Reading の練習 / テキストの内容確認と問題練習 【前・後】 予習 (1 時間) : Unit 9 (pp 54-6) 復習 (30 分) : テキスト (p 56) のリスニングと音読</p> <p><b>第11回</b> 【授】 Unit 10: Slash Reading と Paragraph Reading の練習 / テキストの内容確認と問題練習 【前・後】 予習 (1 時間) : Unit 10 (pp 60-2) 復習 (30 分) : テキスト (p 62) のリスニングと音読</p> <p><b>第12回</b> 【授】 Unit 11: Slash Reading と Paragraph Reading の練習 / テキストの内容確認と問題練習 【前・後】 予習 (1 時間) : Unit 11 (pp 66-8) 復習 (30 分) : テキスト (p 68) のリスニングと音読</p> <p><b>第13回</b> 【授】 Unit 12: Slash Reading と Paragraph Reading の練習 / テキストの内容確認と問題練習 【前・後】 予習 (1 時間) : Unit 12 (pp 72-4) 復習 (30 分) : テキスト (p 74) のリスニングと音読</p> <p><b>第14回</b> 【授】 Unit 13: Slash Reading と Paragraph Reading の練習 / テキストの内容確認と問題練習 【前・後】 予習 (1 時間) : Unit 13 (pp 78-80) 復習 (30 分) : テキスト (p 80) のリスニングと音読</p> <p><b>第15回</b> 【授】 Unit 14: Slash Reading と Paragraph Reading の練習 / テキストの内容確認と問題練習 【前・後】 予習 (1 時間) : Unit 14 (pp 84-6) 復習 (30 分) : テキスト (p 86) のリスニングと音読</p> <p><b>第16回</b> 【授】 Final Exam.</p>
---	--

成績評価方法

- ・ Extensive Reading (ER 多読) として毎日英文を読み、『目指せ 100 万語 読書記録手帳』に呼んだ本の文字数を記録。
- ・ ER 多読 (20%)、出席・授業態度・授業参加 (40%)、期末試験の結果 (40%) の総合評価を成績とする。
- ・ 期末試験の結果はコメント付きで返却。

教科書・参考書

Sato, Akihiko and Valerie Tidwell (2019) Reading Success 1 3rd ed. 成美堂

受講に当たっての留意事項

毎回の授業はグループディスカッションを中心に進めるので、出席者が予習済みであることが前提となります。また、復習は知識を定着させるための大事な学習過程です。以上の理由から、授業の予習・復習は必ず行うこと。

実務経験のある教員による授業科目有無	実務経験と授業科目との関連性	アクティブラーニング (ディスカッション、グループワーク、発表 等) の実施
○	英語講師として学生・社会人向けの英語資格試験対策講座を行った経験を活かし、リーディング・スキル向上のための練習を中心に授業を行う。	○

学習到達目標

- ① 文書形式の英語理解に役立つ基礎知識・技術が身に付く。
- ② 英語の学習方法が身に付く。

JABEE

【授】: 授業内容 【前・後】: 事前・事後学習

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
320288	X-21-B-1-320288	1	後期	【1・2年次生】国際学部国際文化学科	専門	選択必修	1年
				【3年次生以上】国際学部国際文化学科	専門	選択	2年
				【1-3年次生】経営情報学部経営学科	×	×	×
				【1-3年次生】経営情報学部情報システム学科	×	×	×
				【4年次生】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×
				【4年次生】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×
授業科目		担当教員					
英語 2bB/リーディング 2B		矢口 裕子					
<b>授業目的</b>							
この授業では、文法項目の総合的再確認を一つの柱とし、日本を訪れる外国人に日本を紹介する表現を学ぶことをもう一つの柱とする。文法・コミュニケーション・読解能力の総合的向上、ならびに異文化間コミュニケーション能力の育成をめざす。テキストを進めながら、適宜ペアワーク、ディスカッション、プレゼンテーションを行う。							
<b>各回の授業内容</b>							
<b>第1回</b> 【授】 イントロダクション 【前・後】 毎回の予習復習に計1時間相当の課題を提示し、その成果を提出してもらう。 <b>第2回</b> 【授】 1. 空港で① 【前・後】 毎回の予習復習に計1時間相当の課題を提示し、その成果を提出してもらう。 <b>第3回</b> 【授】 1. 空港で② 【前・後】 毎回の予習復習に計1時間相当の課題を提示し、その成果を提出してもらう。 <b>第4回</b> 【授】 2. マションンに到着① 【前・後】 毎回の予習復習に計1時間相当の課題を提示し、その成果を提出してもらう。 <b>第5回</b> 【授】 2. マションンに到着② 【前・後】 毎回の予習復習に計1時間相当の課題を提示し、その成果を提出してもらう。 <b>第6回</b> 【授】 3. お客様を迎える① 【前・後】 毎回の予習復習に計1時間相当の課題を提示し、その成果を提出してもらう。 <b>第7回</b> 【授】 3. お客様を迎える② 【前・後】 毎回の予習復習に計1時間相当の課題を提示し、その成果を提出してもらう。 <b>第8回</b> 【授】 4. デバ地下でお買い物① 【前・後】 毎回の予習復習に計1時間相当の課題を提示し、その成果を提出してもらう。				<b>第9回</b> 【授】 4. デバ地下でお買い物② 【前・後】 毎回の予習復習に計1時間相当の課題を提示し、その成果を提出してもらう。 <b>第10回</b> 【授】 5. お花見① 【前・後】 毎回の予習復習に計1時間相当の課題を提示し、その成果を提出してもらう。 <b>第11回</b> 【授】 5. お花見② 【前・後】 毎回の予習復習に計1時間相当の課題を提示し、その成果を提出してもらう。 <b>第12回</b> 【授】 6. 浅草へ行こう① 【前・後】 毎回の予習復習に計1時間相当の課題を提示し、その成果を提出してもらう。 <b>第13回</b> 【授】 6. 浅草へ行こう② 【前・後】 毎回の予習復習に計1時間相当の課題を提示し、その成果を提出してもらう。 <b>第14回</b> 【授】 7. 秋葉原を散策① 【前・後】 毎回の予習復習に計1時間相当の課題を提示し、その成果を提出してもらう。 <b>第15回</b> 【授】 7. 秋葉原を散策② 【前・後】 毎回の予習復習に計1時間相当の課題を提示し、その成果を提出してもらう。 <b>第16回</b> 【授】 試験 【前・後】 毎回の予習復習に計1時間相当の課題を提示し、その成果を提出してもらう。			
<b>成績評価方法</b>							
小レポートにコメントをつけ返却、プレゼンへの講評。 成績は、定期試験70%、宿題・授業外レポート10%、授業態度・授業への参加10%、成果発表10%の割合で評価する。							
<b>教科書・参考書</b>							
Introduce Japan in Easy English(朝日出版社)							
<b>受講に当たっての留意事項</b>							
全員が予習してきていることを前提に授業を進める。出席のための出席は意味がない。辞書は必ず持参のこと。							
実務経験のある教員による授業科目有無	実務経験と授業科目との関連性						アクティブラーニング(ディスカッション、グループワーク、発表 等)の実施
×							○
<b>学習到達目標</b>							
英作文・小レポート課題にコメントをつけ返却、講評を行う。文法の総復習、コミュニケーション・読解能力の向上をめざす。							
JABEE							

【授】：授業内容 【前・後】：事前・事後学習

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
320288	X-21-B-1-320288	1	後期	【1・2年次生】国際学部国際文化学科	専門	選択必修	1年
				【3年次生以上】国際学部国際文化学科	専門	選択	2年
				【3年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	専門	必修	2年
				【1-3年次生】経営情報学部経営学科	×	×	×
				【1-3年次生】経営情報学部情報システム学科	×	×	×
				【4年次生】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×
				【4年次生】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×
<b>授業目的</b>							
様々な分野について書かれた文章を読むことにより、英語の読解力を身につけることと、高度な語学運用力を持って異文化理解の精神を研ぎ澄まし、国際社会なる多文化状況にあってポジティブに協動的にネットワークを拡張していく意欲と能力を身につける。							
<b>各回の授業内容</b>							
<b>第1回</b> 【授】 説明 Chapter 1 A Family Sees A. eroca Together 【前・後】 予習 30分。復習 30分。あらかじめ授業で扱うところを読み、問題を解く。また間違えたところを中心に復習する。				<b>第9回</b> 【授】 Chapter 8 A Healthy Diet for Everyone 【前・後】 予習 30分。復習 30分。あらかじめ授業で扱うところを読み、問題を解く。また間違えたところを中心に復習する。			
<b>第2回</b> 【授】 Chapter 2 Volunteer Vacations 【前・後】 予習 30分。復習 30分。あらかじめ授業で扱うところを読み、問題を解く。また間違えたところを中心に復習する。				<b>第10回</b> 【授】 Chapter 9 Alfred Nobel: A Man of Peace 【前・後】 予習 30分。復習 30分。あらかじめ授業で扱うところを読み、問題を解く。また間違えたところを中心に復習する。			
<b>第3回</b> 【授】 Chapter 3 How Alik Are Identical Twins? 【前・後】 予習 30分。復習 30分。あらかじめ授業で扱うところを読み、問題を解く。また間違えたところを中心に復習する。				<b>第11回</b> 【授】 Chapter 9 Alfred Nobel: A Man of Peace 【前・後】 予習 30分。復習 30分。あらかじめ授業で扱うところを読み、問題を解く。また間違えたところを中心に復習する。			
<b>第4回</b> 【授】 Chapter 4 The Search for Happiness through Adoption 【前・後】 予習 30分。復習 30分。あらかじめ授業で扱うところを読み、問題を解く。また間違えたところを中心に復習する。				<b>第12回</b> 【授】 Chapter 10 Marie Curie: Nobel Prize Winner 【前・後】 予習 30分。復習 30分。あらかじめ授業で扱うところを読み、問題を解く。また間違えたところを中心に復習する。			
<b>第5回</b> 【授】 Chapter 4 The Search for happiness through Adoption 【前・後】 予習 30分。復習 30分。あらかじめ授業で扱うところを読み、問題を解く。また間違えたところを中心に復習する。				<b>第13回</b> 【授】 Chapter 10 Marie Curie: Nobel Prize Winner 【前・後】 予習 30分。復習 30分。あらかじめ授業で扱うところを読み、問題を解く。また間違えたところを中心に復習する。			
<b>第6回</b> 【授】 Chapter 5 Robots: The Face of the Future 【前・後】 予習 30分。復習 30分。あらかじめ授業で扱うところを読み、問題を解く。また間違えたところを中心に復習する。				<b>第14回</b> 【授】 Chapter 11 Oil as an Important World Resource 【前・後】 予習 30分。復習 30分。あらかじめ授業で扱うところを読み、問題を解く。また間違えたところを中心に復習する。			
<b>第7回</b> 【授】 Chapter 6 A New Way to Go 【前・後】 予習 30分。復習 30分。あらかじめ授業で扱うところを読み、問題を解く。また間違えたところを中心に復習する。				<b>第15回</b> 【授】 Chapter 11 Oil as an Important world Resource 【前・後】 予習 30分。復習 30分。あらかじめ授業で扱うところを読み、問題を解く。また間違えたところを中心に復習する。			
<b>第8回</b> 【授】 Chapter 7 Improving Lives with Pet Therapy 【前・後】 予習 30分。復習 30分。あらかじめ授業で扱うところを読み、問題を解く。また間違えたところを中心に復習する。				<b>第16回</b> 【授】 期末試験 【前・後】 試験範囲をしっかりと復習して、試験に臨む。			
<b>成績評価方法</b>							
期末試験 50%、小テスト 20%、授業態度・授業への参加 20%、その他 10%で評価します。 その他：Extensive Reading（多読）として毎日英語の本を読み、『目指せ 100万語 読書記録手帳』に読んだ本のワード数を記録し、125,000wordsを上限として 20%反映させます。 小テストを採点して返却し、解説を行う。							
<b>教科書・参考書</b>							
山科美和子、横山三鶴 他： Reading Access -Skills for Academic Success (センゲージラーニング)							
<b>受講に当たっての留意事項</b>							
欠席が3分の1を超えると試験資格を失う。遅刻2回で欠席1回。毎回辞書を必ず持参すること。							
実務経験のある 教員による授業 科目有無	実務経験と授業科目との関連性						アクティブラーニング（ディスカッション、グループワーク、発表等）の実施
×							×
<b>学習到達目標</b>							
比較的長い文章を、要点を把握しながら読み進める読解力を身につけることを目指す。							
JABEE							

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年	
320288	X-21-B-1-320288	1	後期	【1・2年次生】国際学部国際文化学科	専門	選択必修	1年	
授業科目				担当教員	【3年次生以上】国際学部国際文化学科	専門	選択	2年
英語 2bD/リーディング 2D				内田 朗子	【3年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	専門	必修	2年
					【1-3年次生】経営情報学部経営学科	×	×	×
					【1-3年次生】経営情報学部情報システム学科	×	×	×
					【4年次生】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×
				【4年次生】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×	

授業目的

This class is designed for the intermediate level students to develop their English skills through various topics.

各回の授業内容

<p>第1回 【授】 Introduction 【前・後】 1.5 hrs per week for preparation/review</p> <p>第2回 【授】 Topic 1 【前・後】 1.5 hrs per week for preparation/review</p> <p>第3回 【授】 Topic 1 workshop 【前・後】 1.5 hrs per week for preparation/review</p> <p>第4回 【授】 Quiz 1</p> <p>Topic 2 【前・後】 1.5 hrs per week for preparation/review</p> <p>第5回 【授】 Topic 2 workshop 【前・後】 1.5 hrs per week for preparation/review</p> <p>第6回 【授】 Quiz 2</p> <p>Topic 3 【前・後】 1.5 hrs per week for preparation/review</p> <p>第7回 【授】 Topic 3 workshop 【前・後】 1.5 hrs per week for preparation/review</p> <p>第8回 【授】 Quiz 3</p> <p>Topic 4 【前・後】 1.5 hrs per week for preparation/review</p>	<p>第9回 【授】 Topic 4 workshop 【前・後】 1.5 hrs per week for preparation/review</p> <p>第10回 【授】 Quiz 4</p> <p>Topic 5 【前・後】 1.5 hrs per week for preparation/review</p> <p>第11回 【授】 Topic 5 workshop 【前・後】 1.5 hrs per week for preparation/review</p> <p>第12回 【授】 Quiz 5</p> <p>Topic 6 【前・後】 1.5 hrs per week for preparation/review</p> <p>第13回 【授】 Topic 6 workshop 【前・後】 1.5 hrs per week for preparation/review</p> <p>第14回 【授】 Review 【前・後】 1.5 hrs per week for preparation/review</p> <p>第15回 【授】 Review 【前・後】 1.5 hrs per week for preparation/review</p> <p>第16回 【授】 Final Exam</p>
---	--

成績評価方法

Exam [30%]; Quizzes [30%]; Extensive Reading [20%]; Class contribution [20%]

\*Quizzes will be marked during the class.

\*Comments, references, and other materials will be uploaded on the portal site if needed.

\*Extensive Reading として読んだ英語の本の文字数を成績評価に20%反映させます(上限125,000 words)。

教科書・参考書

受講に当たっての留意事項

実務経験のある 教員による授業 科目有無	実務経験と授業科目との関連性	アクティブラーニング(ディスカッション、グループワーク、発表等)の実施
○	海外留学・在住経験を持つ教員が実用的な英語力の習得をサポートする。	○

学習到達目標

Upon successful completion of this course, students will be able to:

- be familiar with current topics in English
- recognize the various terminologies used in news articles
- express their opinions regarding the topics mentioned in class using appropriate terminologies

JABEE

【授】: 授業内容 【前・後】: 事前・事後学習